

世界遺産登録への道

Vol.24

「ときめき世界遺産塾」について

今回は、次代を担う子どもたちを対象とした世界遺産登録推進活動「ときめき世界遺産塾」について紹介します。

「ときめき世界遺産塾」は、小中学生を対象に、平泉の文化遺産や郷土の歴史について学び、理解を深めることを目的に平成14年から県教委が実施していたものです。本年度から市と平泉町・一関市が引き継いで主催し、全6回の講座に市内からも多くの子どもたちが参加しました。



子どもたちが工夫を凝らしてまとめたパネル

初回の講座は【中尊寺金色堂に平泉の輝きを学ぶ】をテーマに、中尊寺の文化財などについて学習しました。「中尊寺は仏が頭をなでてくださいる場所」というお坊さんの説明にはみんなびっくり。形に見えない中尊寺の素晴らしさも学びました。

2回目は【毛越寺・無量光院跡に平安の浄土を学ぶ】として毛越寺で庭園と延年の舞を見学。見学後の発掘体験では、子どもはもちろん保護者も夢中になっていたのが印象的でした。

3回目は【奥州の史跡を巡る平泉のルーツを学ぶ】として、長者ヶ原廃寺跡や白鳥館遺跡、胆沢城跡など奥州市の史跡を見学。胆沢城では、広大な遺跡と多くの出土品にみんな興味津々。平泉の文化が、突然に生まれたものではないことを学びました。

4回目は【達谷窟・骨寺村を訪ね平泉のココロを学ぶ】というテーマで達谷窟・骨寺村を見学。骨寺村では、お楽しみのもちつき体験をし、荘園で収穫された米で作ったおもちをごちそうになりました。

なりました。おいしいおもちとともに遺跡を守る地域の皆さんのココロも味わったようです。

5回目は【高館に上り平泉の歴史とロマンを学ぶ】として、高館と柳之御所遺跡を見学。義経や松尾芭蕉など、今なお多くの人をひきつける平泉の魅力について知ることができました。

最終回は【平泉の「宝物」をプレゼンテーションする】として、これまでの講座をまとめたパネルを製作しました。写真や文章など、大人が思いも付かない工夫により、とても分かりやすい平泉の文化を紹介するものとなりました。

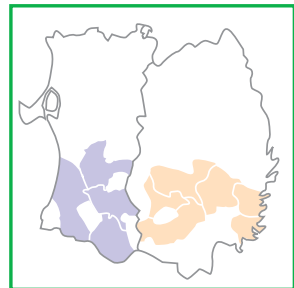
各講座では、高校生のジュニアリーダーが、運営の手伝いや子どもたちのガイドを担当するなど、多方面で大活躍してくれました。

現在に伝えられてきた文化遺産を守る担い手を育て、次の世代へ伝えていくことも現代を生きるわたしたちの責務といえるでしょう。

■問い合わせ 世界遺産登録推進室（前沢総合支所内線312、313）

あいラインのまちに出掛けてみませんか

「あきた」と「いわて」の頭文字から取った愛称・あいライン（北東北地域連携軸）は、岩手県南の6市（奥州、北上、花巻、遠野、釜石、大船渡）と秋田県南の4市（大仙、由利本荘、横手、湯沢）で構成する広域交流圏です。それぞれの特色を生かしながら、災害時の相互援助協定などさまざまな分野で協力し合い、「人・もの・心」をつなぐ新しい地域づくりを目指しています。各市の催しに出掛けてみませんか。



開催予定日	イベント名（開催地）
3月21日国・22日国	早池峰神楽公演（花巻市）
5月4日国・5日国	基石海岸観光まつり（大船渡市）
6月・11月	国指定名勝・池田氏庭園特別公開（大仙市）
6月第2回	小町祭り（湯沢市）
6月13日国	夏油三山山開き（北上市）
6月21日国	東北馬力大会（遠野市）
7月11日国・12日国	旧藩祭（由利本庄市）
8月上・中旬	釜石よいさ
8月第4回	大行列（湯沢市）
9月19日国・20日国	B-1グランプリ in 横手
10月31日国～11月3日国	全国ごてんまりコンクール（由利本庄市）
22年1月上旬	銀河系宇宙ほらふき決勝大会（横手市）
2月10日国	刈和野の大綱引き（大仙市）

消費生活Q&A相談

このコーナーでは、普段の生活で実際に相談があった事例から、その対処方法などを紹介します。消費生活相談は各総合支所で行っています。詳しくは広報おしゅうお知らせ版の「相談窓口」を参照してください。

狙われる20代（資格商法）
（相談者 20代女性）

Q 突然、自宅に「資料が届いていると思うのですが、見ていただけたでしょうか」という電話がかかってきました。「見ていない」と答えたところ「これは国が決めた資格で、資格を取れば1時間当たり1万円は稼げる。今日が登録の締め切りになっているが、あなたが登録していない」と、威圧的に回答を迫られました。わたしは興味がないと断りましたが、相手は「登録さえしておけば、今でなくても、やりたくなったらできる」と説明を続けられました。何度断っても話が終わらないし、疲れてきたので「登録だけなら」と言ってしまうました。ところが次の日、速達で資格取得の教材と購入申込書類と会員証まで送られてきました。わたしは登録をしただけで、契約をするつもりはありません。どうしたらよいでしょうか。

A これは、悪質な資格商法の電話勧誘です。不意に電話を掛け、一方的な勧誘を始めます。販売目的を告げずに、確実にもうかる話とか、国家資格が簡単に取れるような話をします。再三断っても、しつこく長時間の勧誘を続けられます。

電話勧誘も訪問販売と同様に、書面を受け取ってから8日間以内であれば、クーリングオフ（無条件解約）ができます。この事例の場合も、書面で「解約通知」を出して解約できました。資格商法で狙われるのは、ほとんどが20代前半の若年層です。はつきり断ってもしつこく勧誘してきたり、解約を求めても「一度登録したものは解約できない」と言ったり、何度も繰り返し電話を掛けてきたりします。1人で悩まず、困ったら早めに相談してください。（本庁市民課総合相談室）

こんちは！
市長です
奥州市長
相原正明

新潟県にあった古民家を移築したという相澤征雄さんの家は、衣川区後山の雪におおわれた山間地にありました。恐る恐る玄関を入ると2階まで吹き抜けのような高い屋根の下の部屋に、7人の移住者が既に集まっていました。市主催の「奥州・移住を考える集い」がスタートしました。市では、19年度から中山間地域などへの移住促進による地域活性化を目指して、空き家バンク事業を実施していま

す。延べ登録件数は60件、契約成立は18件に上っています。平成2年に東京都から移り住んだ男性は、当時は行政の世話は一切なかったが、土地が安かったからと話しました。また5年に東京都から移住した女性は、当地域の魅力は時間がゆつくりと流れ、車があれどこにでも行け、野菜が驚くほどおいしいことと述べました。このほか若い男性からは、市のホームページを見て移り住んだが、働く場があることと、間に入ってくれる人の存在が必要と話がありました。今後このような話し合いの場を継続するとともに、地元を受け入れ態勢を一層整えてまいります。

お元氣レシピ

簡単朝食メニュー⑫

ゆずしょうゆあえ



材料（5人分）

ナバナ……………100g
エノキ茸……………1袋（150g）
ニンジン……………25g
ゆず果汁……………小さじ2
しょうゆ……………小さじ2

作り方

- ①ナバナはゆでてから水で冷やし、2センチくらいの長さに切る
- ②ニンジンは千切り、エノキ茸は石づきを取って小分けにし、ゆでてから水で冷やす
- ③①と②を合わせて、ゆず果汁としょうゆであえたら出来上がり

わたしたちが作りました



佐倉河学校給食センター

春の野菜といえば「ナバナ」。ナバナにはカルシウムやビタミンC、食物繊維などが豊富に含まれています。ゆでてあえるだけなので、忙しい朝にも簡単に不足しがちな野菜がとれます。彩りもいいのでお弁当にもお勧めです。